

Actizyme

(アクチザイム)

肌本来の角層剥離を模倣し、より明るく輝かしい顔色へ

- ★皮膚に存在し角層の剥離を調節する酵素と同様の働きをする、天然由来の原料です。
- ★肌の透明度を高め、保湿を高める効果的で優しいピーリングを提供します。
- ★副作用のない穏やかな作用が望ましいフェイスクアやボディクアに使用いただけます。

【機能・特徴】

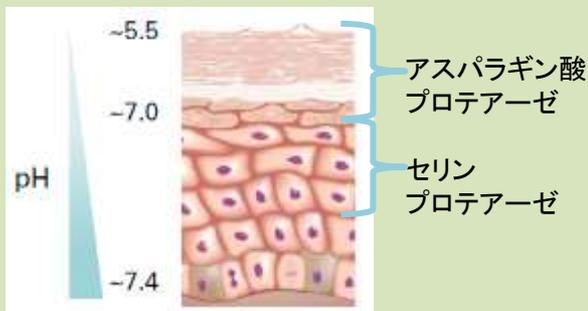
皮膚のくすみは老化の兆候ともいわれ、効果的な肌の再生が明るい外観に不可欠とされています。若くて健康な肌では、古い角質の剥離と新しい表皮細胞の産生との間に良好なバランスが取れています。この角質細胞の剥離は、角層に存在するプロテアーゼ(タンパク質分解酵素)によって行われ、pH勾配によって制御されています。

このメカニズムを模倣するために、チーズの生産に伝統的に使用されるキノコ(菌糸)類Mucor miehei (ムコールミエヘイ)のアスパルギン酸プロテアーゼに着目しました。このプロテアーゼは、角質細胞の剥離を担うカテプシンD様酵素と非常によく似た性質と働きを示すため、優しいピーリングを提供します。

【角層剥離メカニズム】

若くて健康な表皮

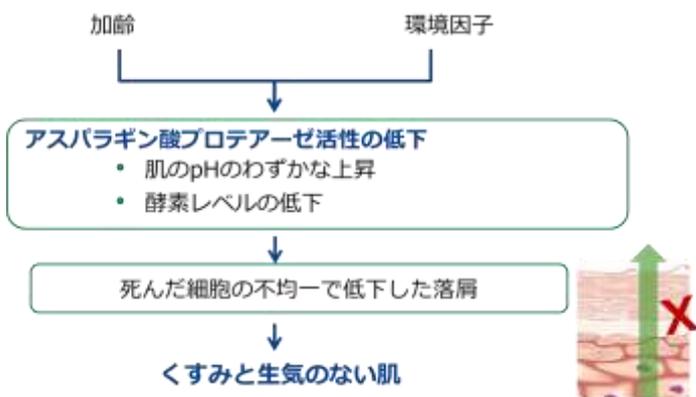
pH勾配と表皮の多様なプロテアーゼの局在化により、角質細胞の剥離がコントロールされています



- カテプシンD: 剥離プロセスで最も重要な内因性酵素
- アスパラギン酸プロテアーゼ活性の80%を占める
- 至適pHは3.5-5であり、角層の最表層でのみ働く

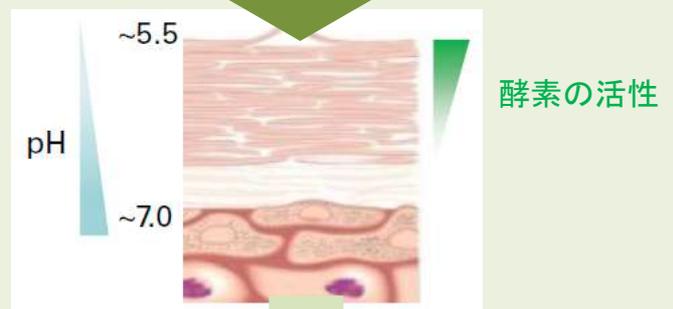
カテプシンDは角質の最表層の剥離を促進

年齢とともに減少する角層の落屑効率



菌糸類酵素による作用

酸性緩衝液で製剤化された酵素 (pH 3.5-4.5) を塗布

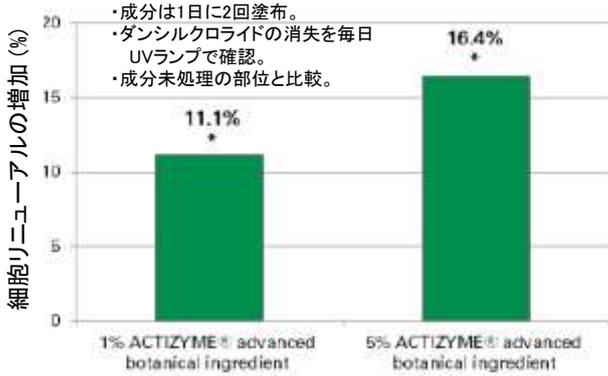


皮膚に塗布された後に剥離の促進が即座に始まります

↓
皮膚のバッファリング能力でpHを中性に戻します

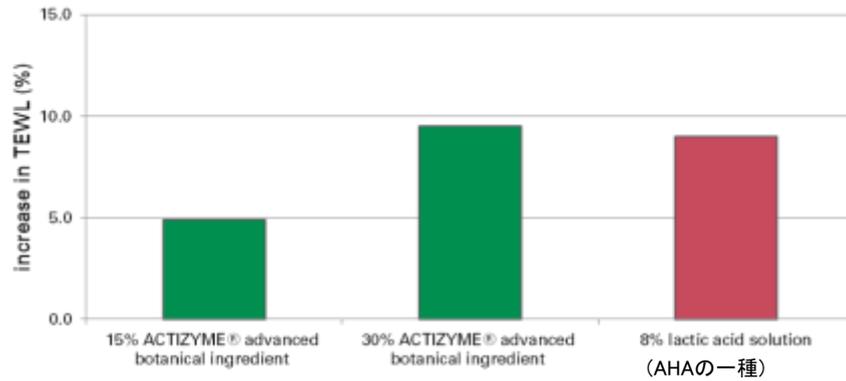
↓
皮膚のより深い層で不活性になります (pH>5.5)

角層リニューアル速度の増加 (ヒト試験)



酵素の連用により、
角層リニューアル速度が増加します。

皮膚バリアの防御 (ヒト試験)



ACTIZYME® advanced botanical ingredient は、
AHA程バリア機能を損ないませんでした。
(推奨配合量は1-10%)

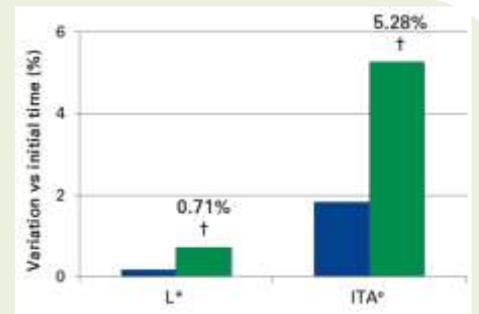
視覚的により明るい肌へ (ヒト試験)

☆Actizyme 2%の使用により 顔のトーンが目に見えて改善



0 days

30 days



色パラメータの改善

試験対象	インド人女性21名 スキントイプ(Fitzpatrick): IV 19-46歳
試験期間	30日間
試験方法	プラセボと2%ACTIZYME配合 クリームを半顔に、1日に2度 塗布。

✓細胞のリニューアル速度が上昇(16.4%) ✓AHAと比較した皮膚刺激性とバリア破壊の減少
✓より明るい肌色へ L*値の改善 ✓ITA° の上昇

【商品情報】

商品名: ACTIZYME® GL advanced botanical

表示名称: 水、ムコールミエヘイエキス、グリセリン、クエン酸Na、ソルビン酸K、安息香酸Na、フィチン酸

推奨濃度: 1-10%

製造元: Lubrizol



2020/4/21

これは原材料に関する成分内容の説明、科学的データの紹介等をしており、
効能効果を説明、保証するものではありません。また無断使用、無断転載を禁止します。



株式会社 マツモト交商
www.matsumoto-trd.co.jp